

あしおま

1月に96歳を迎える
午年生まれの
山本とみさん(前列中央)と、
地域サービスセンター
岡鼻のみなさん



謹賀新年

元旦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より、当会の地域福祉推進に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、昨年(令和七年)は、これからの伊賀市の地域福祉の指針となる「地域福祉活動計画」を、住民の皆様の積極的なご参画のもとで策定を進めており、本年はいよいよこの計画を具体的に推し進める「実行の年」となります。皆様からいただいた熱い思いを形にし、支え合いの地域づくりに邁進してまいります。

また、複雑化する地域課題に対応するため、昨年発足いたしました「居住支援協議会」も、本年より本格的な稼働を開始いたします。住まいの確保に困難を抱える方々への支援体制を強化し、切れ目のないセーフティネットの構築を目指します。

あわせて、昨年十二月一日の一斉改選により着任された新任の民生委員・児童委員の皆様も、新たな体制で活動をスタートされました。本会は、この民生委員児童委員連合会の事務局を担う立場として、地域福祉の最前線で住民の皆様に寄り添う委員の方々とより一層強固に連携し、車の両輪となって見守りの輪を広げてまいりる所存です。

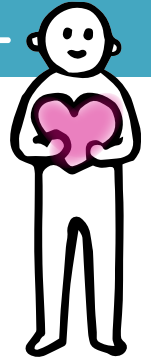
本年が皆様にとりまして、実り多く、安らぎに満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

令和八年一月一日

(福)伊賀市社会福祉協議会 会長 平井 俊圭

役職員一同

ー伊賀市 ひきこもり支援に関する市民講座ー



日時

2026年2月14日(土) 13:30~15:30
(受付 13:00~)

会場

ゆめぼりすセンター 2階大会議室

参加費無料
定員 80名
当日参加可

演題

『不登校、ひきこもり等のアウトリーチを用いた
多面的アプローチ』

～社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立に向けて～

講師

認定特定非営利活動法人

スチューデント・サポート・フェイス 代表理事

谷口 仁史氏



1976年生まれ、佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPO スチューデント・サポート・フェイス（略称 S.S.F.）」を設立。

令和7年3月末日現在、委託事業を含む約86万件を超える相談活動、約12万6千件を超えるアウトリーチに携わった他、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。

近年はその実績が認められ公的委員を歴任。アウトリーチに関しては、「若年者向けキャリア・コンサルティング研究会」、「高校中退者等アウトリーチワーキンググループ」で委員を務めた他、生活困窮者自立支援法に係る、社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」（厚労省）、子ども・若者育成支援推進法に係る「子ども・若者育成支援推進点検・評価会議」、「こども政策の推進に係る有識者会議（内閣官房）」等政府系委員も務め、全国的な取組の推進に貢献している。

【申し込み】2/6までに、申込専用フォームからお申し込みください 申込フォーム▶



【問い合わせ先】伊賀市社会福祉協議会くらし支援課 ひきこもりサポート nest

☎0595-22-0084 FAX/0595-21-8123 E-mail/nest@hanzou.or.jp

主催 / 伊賀市・伊賀市社会福祉協議会 *この事業は、伊賀市の委託で実施しています。

「ひきこもり」について、
悩んでいる人も、支えたい人も、一緒に考えてみませんか？

国の調査結果から推計すると、伊賀市には、ひきこもり、あるいはそれに近い状態で暮らしている方が約1,000人いるとされています。こうした現状を受け、伊賀市社会福祉協議会では、市からの委託を受けて、相談支援の窓口やフリースペースの運営、家族交流会の開催などに取り組んでいます。

しかし、支援がまだ十分に届いていない方がいるのではないかと課題も感じています。そこで今回は、不登校やひきこもりのアウトリーチ支援で全国的に評価の高い、スチューデント・サポート・フェイス代表理事の谷口仁史氏をお招きし、市民講座を企画しました。

本講座が、当事者やご家族、支援に悩む支援者の皆さまにとって、一助となれば幸いです。



前田友志

中西愛梨

寺田浩和

ひきこもりサポートnest



平時からの支え合いの力で 災害を乗り越える

～被災地支援の現場から見てきたこと～

全国 50 か所以上の災害現場に立ち続けてきた経験を通して
被災地支援・災害ボランティアのリアルと教訓を学び、

私たちのまちに必要な災害対策を考える！

災害が起きたとき、被災者の“困りごと”は一様ではありません。行政だけでは対応しきれない多様で細やかな「困りごと」に寄り添い、支援の網を張り被災地を支えてきた組織「にいがた災害ボランティアネットワーク」。今回はその中核を担い、これまで全国 50 箇所以上の災害現場で復旧・支援の最前線に立ち続けてきた李 仁鉄さんをお迎えし、私たちの地域の防災対策について学び合います。

とき

令和8年 2月7日 土
13:30～16:00 (受付13:00～)

ところ

伊賀市文化会館さまざまホール
(伊賀市西明寺 3240-2 ☎0595-24-7015)

第1部 講演会 (13:40～14:40)

◇講演／「平時からの支え合いの力で災害を乗り越える」
～被災地支援の現場から見てきたこと～

◇講師／NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長 李 仁鉄氏

第2部 対談・質疑応答 (14:50～15:50)

◇テーマ／「おしえて、李さん！ー伊賀の防災・災害対策ー」

◇対談／李 仁鉄氏 × 中村 伊英氏
(伊賀市災害ボランティアセンター長)



◇講師プロフィール
り じんてつ
李 仁鉄氏

山形県出身、新潟県三条市在住。新潟大学法学部法学科卒業。

2004年水害で自身が被災したことをきっかけに災害支援の道を歩み始める。2017年より、特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長就任。災害時は全国被災地からの支援要請を受けアドバイザー等で尽力する傍ら、平時には講演研修講師等で全国の災害時対策に寄与する。災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）幹事をはじめ、全国域・新潟県域における災害支援会議や防災検討会等の各種委員も務める。

問い合わせ先 伊賀市社会福祉法人連絡会事務局（伊賀市社会福祉協議会内）
☎0595-21-5866・FAX26-0002

■主催／伊賀市社会福祉法人連絡会

■後援／伊賀市、伊賀市民生委員児童委員連合会、名張市社会福祉法人連絡会、三重県社会福祉協議会

事前申込不要
参加費無料

地域食堂とは？

「食」を通じた子どもから大人まで、誰もが集える場です。子どもの育ちや社会的なつながりを地域でサポートする役割もあります。



玉 瀧

おこめはらっぱ

- 👤 こども・子育て中の親・地域住民
- 📍 玉滝地区市民センター
- ✔️ 毎週金曜日（週1回）
15:00～18:30
- 💰 こども▷100円 おとな▷300円

まきやま子ども食堂

- 👤 こども・子育て中の親・地域住民
- 📍 伊賀市横山3193番地
- ✔️ 第4土曜日（月1回）
11:00～14:00
- 💰 こども▷無料 おとな▷300円

柘 植

つばめカフェ

- 👤 どなたでも
- 📍 柘植地区市民センター等
- ✔️ 月1回（土・日・祝）
10:00～20:00
（イベント内容によって異なります）
- 💰 こども▷100～500円
おとな▷300～500円

府 中

ふちゅう地域食堂

- 👤 こども・子育て中の親・地域住民
- 📍 府中地区市民センター
- ✔️ 年3回（不定期）
10:00～
- 💰 こども▷無料 おとな▷200円

地域服部食堂

- 👤 こども・子育て中の親・地域住民
- 📍 服部町公民館、グラウンド
- ✔️ 不定期（年6回）
11:00～14:00
- 💰 こども▷無料 おとな▷200円

「地域（子ども）食堂」の活動を応援しています。

地域食堂連絡会・研修会

＊「伊賀市地域食堂連絡会」では、市内で活動する団体の情報共有、意見交換、研修の場を提供しています。このたびの研修会では、地域の方を「お迎えする」だけでなく、必要な物や支援を「届ける」ことを通じて、孤立しやすい人（世帯）と地域をつないでいる、こども宅食の取り組みをご紹介します。今回はどなたでもご参加いただけますので、ぜひ下記までご連絡ください。

【テーマ】地域食堂の新たな活動の展開にむけて
～「こども宅食」ってなに？～

【日 時】令和8年2月5日（木）13:30～15:30

【場 所】伊賀市総合福祉会館2階 会議室1・2

【講 師】一般社団法人 こども宅食応援団

地域食堂への支援助成

＊伊賀市内で地域食堂・子ども食堂を実施および実施予定の団体に、活動経費の一部を助成しています。※要件、審査あり

〔令和7年度実績〕

地域食堂等支援助成事業▷1団体2万円

ともにタベルン♪推進事業▷1団体上限3万円（JA商品券）

地域食堂をやりたい方、応援したい方の相談に応じます

＊「地域食堂・子ども食堂でボランティア活動をしたい」「お家で収穫した野菜を使ってほしい」「子どもたちに、おいしいお米を食べてもらいたい」など、地域食堂・子ども食堂の活動を応援したい方と、地域食堂・子ども食堂をつなぎます。

伊賀市社会福祉協議会 地域支援課 各地域センター
（平日 8:30～17:15）

おなかいっぱい＊ こころぽかぽか

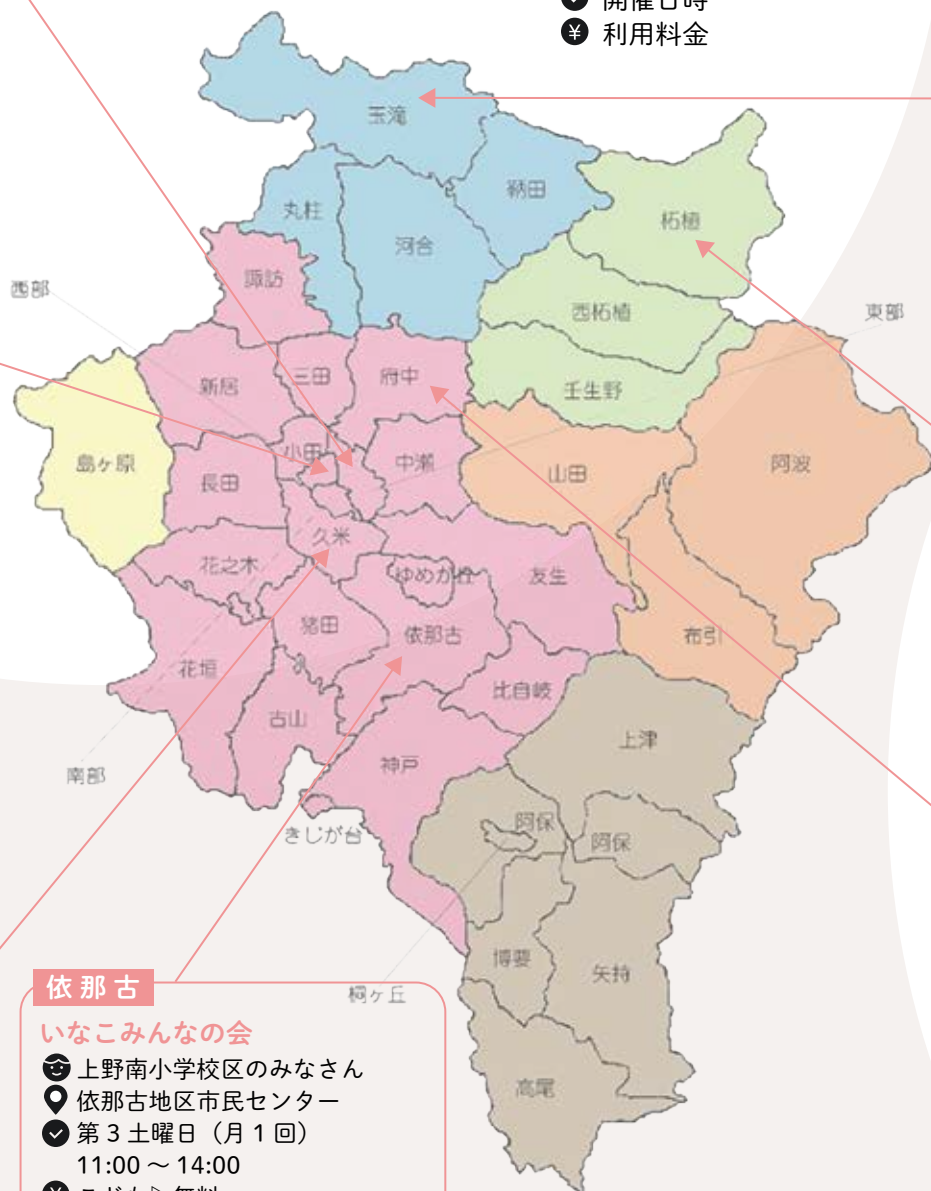


令和7年12月現在

地域食堂MAP

＊伊賀市内の、地域食堂連絡会に登録している団体の一覧です。
＊開催日、開催時間は月によって変更になる場合があります。

- 👤 利用対象
- 📍 開催場所
- ✓ 開催日時
- ¥ 利用料金



上野東部

地域食堂「パプリカ」

- 👤 こども・子育て中の親・地域住民
- 📍 上野東部地区市民センター
- ✓ 第2日曜日（月1回）
10:00～13:00
- ¥ こども▷100円 おとな▷200円

日本キリスト改革派上野緑ヶ丘教会

- 👤 こども
- 📍 上野緑ヶ丘教会
- ✓ 夏休み他
12:00～16:00
- ¥ こども▷無料 おとな▷300円

上野西部

子ども食堂「わいわいがっこ」

- 👤 こども・子育て中の親・地域住民
- 📍 おあいこなかまちサテライト
- ✓ 第3日曜日（月1回）
11:30～12:30
- ¥ こども▷無料 おとな▷300円

だーこキッチン

- 👤 こども
- 📍 上野丸之内新天地商店街内映劇ビル1F
- ✓ 不定期
- ¥ こども▷無料 おとな▷無料

寺子屋大仙寺

- 👤 こども・地域住民
- 📍 大仙寺内
- ✓ 不定期（季節ごとに1回）
10:00～14:00
- ¥ こども▷無料
おとな▷200円程度の寄付

久米

久米ひだまりくらぶ&キッチン

- 👤 地域内外問わずどなたでも
- 📍 久米地区市民センター
- ✓ 土曜日（月1回）
10:30～15:00
- ¥ こども▷100円 おとな▷300円

taiyaki_98

- 👤 こども・子育て中の親・地域住民
- 📍 taiyaki_98 店舗内
- ✓ 水曜日
11:30～20:00
- ¥ こども▷無料

依那古

いなこみんなの会

- 👤 上野南小学校区のみなさん
- 📍 依那古地区市民センター
- ✓ 第3土曜日（月1回）
11:00～14:00
- ¥ こども▷無料
おとな▷100～200円

ひとり親家庭交流会
参加者募集

伊賀市母子寡婦福祉会では、ひとり親家庭を励ますため交流会を開催します。日頃忙しいひとり親家庭の保護者の方も、ビンゴゲーム等で楽しいひとときを過ごしませんか。

【日時】令和8年1月31日(土)

10時～12時

【場所】伊賀市総合福祉会館会議室

【参加費】500円(大人のみ)

【申込・問い合わせ先】

参加希望の母子・父子家庭及び寡婦の方は、1月24日(土)までに、伊賀市母子寡婦福祉会会長 茂山久代(☎52・1660)までお申し込みください。



思い出の詰まった羽毛製品が、生まれ変わります

羽毛製品が募金になります。

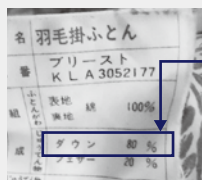


令和6年 募金実績額 **16,980円**



回収された羽毛製品が募金になり、じぶんのまちに使われます。

三重県明和町にある企業「エコランド(有)」が、使わなくなった羽毛製品を回収し、町内の障がい者就労支援施設に解体を委託し、大手羽毛メーカーが洗浄して高品質な羽毛に仕上げます。羽毛製品をリサイクルすることで、「羽毛の安定供給」や「環境の保全」「障がい者就労支援」などに貢献し、募金がじぶんのまちに使われます。



ダウン率 50%以上

穴があいている

汚れている

ダウン率 50%未満

濡れている

綿・ポリエステル
フェザー布団
枕・クッション
は回収できません

個人、地域、団体、企業、学校で・・・
羽毛製品の回収に、ご協力ください

U **UMOU PROJECT**
三重県共同募金会

○羽毛製品がございましたら、最寄りの伊賀市共同募金委員会窓口(社協各地域センター)までお持ちください。

上野地域センター ☎21-1112
阿山地域センター ☎43-1854

いがまち地域センター ☎45-1012
大山田地域センター ☎47-0780

島ヶ原地域センター ☎59-3132
青山地域センター ☎52-2999



毎月の寄付者募集

1日**33円**からできるサポート



伊賀市社会福祉協議会

私たちは、地域社会を良くするために、制度の狭間となる課題解決に挑戦し続ける団体です。ぜひ、ご寄付という形で私たちの活動を支えてください。

【申込・お問い合わせ先】伊賀市社会福祉協議会
☎21-5866・FAX26-0002



生活の危機、人生の危機にある人や子どもたちを一人でも多く救うために、
あなたも「毎月の寄付者」になりませんか。

市民ふくし大学
専門講座



第10期

災害

ボランティア
コーディネーター
養成講座【入門編】

一災害発生！その時あなたや地域はどう動く？一 助け上手・助けられ上手になるための 災害対応力アップ講座

南海トラフ地震や風水害などの災害に備えるためには、
平常時からの防災・減災への取り組みが大切です。
自分も地域も「受援力」を高めるために、助け上手・
助けられ上手になり、みんなで学び合いながら、災害
に強いまちづくりを目指しましょう。

第2回目からでも
参加できます！

第2回

令和8年
1月18日(日)
13:30~16:00
伊賀市総合福祉会館

①災害時に自分も地域も助かる平時の備え

「“災害時要援護者支えあいマップ”作成ワークショップ」

説明／伊賀市社会福祉協議会

②災害時、いつどこへどうやって避難する？

「“マイタイムライン”をつくってみよう！」

講師／伊賀市防災危機対策局

第3回

2月7日(土)
13:30~16:00
伊賀市文化会館

●伊賀市社会福祉法人連絡会主催・市民向けセミナーへの参加

講演／(仮題)「平時からの支え合いの力で災害を乗り越える

～被災地支援の現場から見てきたこと～」

講師／NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李仁鉄さん

第4回

3月20日(金・祝)
13:30~16:00
伊賀市総合福祉会館

●災害時、復旧・復興を支え合う仕組み

「伊賀市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」に参加しよう！

助言者／特定非営利活動法人みえ防災市民会議

議長 山本 康史さん

- 対象者● 住民自治協議会や自主防災組織に所属している方、災害支援活動に興味のある方などなたでも
災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者 など
- 修了● 3回以上講座を受講した場合、伊賀市災害ボランティアコーディネーター修了証を授与します
別途、市民ふくし大学基礎講座を受講すると、いが見守り支援員に認定されます。
- 申込方法● 申込専用フォームか、伊賀市社協本部・各地域センターにお申し込みください。

▼お申し込み



伊賀市災害ボランティアセンター

平野山之下 380-5 伊賀市総合福祉会館 伊賀市社会福祉協議会 企画調整課 ☎0595-33-0064

広告募集中！

15~49歳までの「仕事に就きたいと思っている人とその家族」を応援！

「働くための一步」
きっかけって、なんだろう？

令和8年も
サポステで

サポステ
いが若者サポートステーション

☎0595-22-0039
伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階
開所日/月~金 9:00~17:00(土・日・祝・年末年始)

※就職相談・各種講座※
利用無料・要予約

1月 無料パソコン講座
時間 10:00~15:15

19日(月)	23日(金)	28日(水)
	26日(月)	

ご不要車買取ります。

年式の古い車
乗らなくなった車など

愛車の買取なら地元企業の
亀井商事

出張買取 査定費用 0円 買取手数料 0円

株式会社 亀井商事
Joy-Auto Service ジョイオートサービス 青山店
伊賀市青山羽根381-27

買取受付ダイヤル
0595-62-3131

株式会社 亀井商事 高松市東区204-1 https://www.k-kamei.co.jp/

数字で見る伊賀市の福祉

令和7年10月末現在(前月比)

伊賀市の人口	▶ 83,553人(−59人)		
伊賀市の世帯数	▶ 40,588世帯(+4世帯)		
65歳以上高齢者数	▶ 28,689人(−26人)	高齢化率	▶ 34.3%(±0%)
75歳以上高齢者数	▶ 16,926人(+13人)	後期高齢化率	▶ 20.3%(+0.1%)
介護保険認定者数	▶ 6,195人(−9人)		

あなたのまちの
ふれあい・いきいきサロン

No.223



みんなのサロン

メンバー数/約 30 名
開催場所/古民家「みんなのサロン」
(西柘植地区市民センターの東部)
開催頻度/月 1 回(第 4 水曜日)

「みんなのサロン」は令和 7 年 3 月に開設され、西柘植地区市民センター東部にある古民家を活用した地域の憩いの場です。地域の方々が気軽に集える場所をつくりたいという思いから、もともと人通りの少ない地域に設置されました。チロリ村の村長・橋本さん、まちづくり協議会、地域の皆さんの協力により、「みんなのサロン」が誕生しました。サロンの食事会は地域を問わず参加可能で、事前予約をすればどなたでも利用できます。現在は、食事会のほか、ジャム作り、歴史ウォーク、お餅つきなど、さまざまな行事を開催しています。食事会で提供される料理には、地元で採れた野菜などの食材を使い、手作りで提供しています。

令和 8 年 3 月 1 日から 3 月末まで、各家庭にあるお雛様を集めて展示する「おひな祭り」を企画しています。3 月 3 日には「おひな祭りフェスタ」を開催し、地域子どもたちも参加予定です。代表の長野さんは「今後は月 1 回の開催に加え、カフェも開設し、さらに地域の方々が集える場にしたい」と話しています。

地域住民の立場にたって
地域の福祉を担うボランティア民生委員・児童委員の
一斉改選が行われました

令和7年12月1日、3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。

民生委員・児童委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱される非常勤の地方公務員で、地域の身近な相談相手としてさまざまな相談に応じ、必要な支援につなぐ役割を担います。また、活動で知り得た個人の秘密を守ります。

みなさんの地域の民生委員児童委員は、伊賀市ホームページで紹介されています。

伊賀市ホームページ▶



伊賀市では定数311人の
民生委員児童委員が
活動しています

伊賀市民生委員児童委員連合会

事務局/伊賀市社協 企画調整課 ☎33-0064

能登半島地震が起こってから2年、被災地では復興とともに支援の形も変化してきました。あらためて「つながり」や「助け合い」の大切さを感じる今、新しい年が、誰もが安心して暮らせる一年となりますよう願っております。

編集後記

編集・発行

伊賀市社会福祉協議会

本部	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1 階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002
上野	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1 階 ☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123
地域センター	いがまち ☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050
島ヶ原	〒519-1711 島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」 ☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145
阿山	〒518-1313 馬場 1128 番地の 1 阿山保健福祉センター ☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577
大山田	〒518-1422 平田 656 番地の 1 大山田福祉センター ☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165
青山	〒518-0226 阿保 1988 の 1 番地 青山福祉センター ☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555